

長崎の教会群とキリスト教関連遺産

長崎におけるキリスト教は、繁栄と弾圧、そして復活という劇的な布教の道を歩んできました。

ザビエルによる平戸での布教以来、キリシタン大名誕生や貿易港の開港によって長崎には教会が立ち並び、「小ローマ」とも呼ばれていました。同時に西洋文化も伝えられ、その時伝えられたカステラは長崎土産の定番です。日本各地で興隆したキリスト教でしたが、豊臣秀吉や徳川幕府によって禁教・弾圧に苦しめられることとなります。教会堂や神父不在の中、キリシタンたちはひっそりと信仰を守りました。開国後も禁教が続く中、潜伏してキリスト教を信仰してきた浦上の信徒が外国人居留地に建てられた大浦天主堂を訪れ、プチジャン神父に信仰を告白。「信徒発見」と呼ばれるこの出来事はローマにも伝えられ、大きなニュースとなりました。明治初期の禁教令の廃止以降、信者が潜伏していた山中や浦々に信仰継承の証として建設された教会群など 14 の資産は、信仰の歴史を知る上で非常に価値のあるものとして「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」に制定され、平成 28 年度の世界文化遺産登録を目指しています。

世界遺産への登録には長い時間を必要とし、まずは各国政府が自国の世界遺産暫定リストを作成します。その中から条件が整ったものを世界遺産委員会に推薦、専門機関による調査が行われ、その報告書をもとに世界遺産委員会で登録の可否が決定されます。

長崎では身近な存在である教会が、後世に残すべきものとして評価されることをとても喜ばしく感じます。長崎市内には大浦天主堂と関連施設、出津教会堂と関連施設、大野教会堂の 3 つの史跡があります。ぜひ足を運んでみてください。

日本国内には文化遺産・自然遺産合わせて 18 の世界遺産が存在します。長崎から世界遺産が誕生する日が待ち遠しいですね。

『明治期長崎のキリスト教 カトリック復活とプロテスタント伝道』

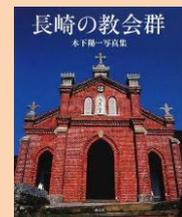
坂井 信生/著
長崎新聞社
N192.1 サ



幕末から明治にかけての激動期は、宗教においても例外ではありませんでした。明治初期とその後の長崎のキリスト教史を辿る一冊です。

『長崎の教会群 木下陽一写真集』

木下 陽一/著
海鳥社
N748 キ



長崎の 34 の教会堂とそこに秘められた祈りの情景を写しとった写真集。

<図書館カレンダー>

※毎週**火曜日**は休館日です。

※開館時間

10:00～20:00



1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

開講！としょかんミニスクール



春に好評いただいた「開講！としょかんミニスクール ～はじめよう、終活～」の第2弾を、10月から3回にわたって開催しました。

各回のタイトルはそれぞれ、第1回「やってみよう！図書館で終活！」、第2回「開いてみよう！絵本」、第3回「気軽に動こう！すこやかライフ」。今回は絵本にふれてもらったり、講師の方を招いて身体を動かしたりと、春とはまた違った内容でした。

図書館を通して、昨今社会的に関心が集まっている「終活」に触れる機会を持っていただこうと始めたこの講座。今回も春と同じく定員を少人数に設定していたので、対話も多く和やかな雰囲気のものになりました。参加者からは「有意義だった」との声もいただくことができました。

今後も、図書館として意義ある講座を実施していけたらと思います。



平成26年度 長崎市立図書館文学講座

昨年の12月6日（土）と20日（土）、2回にわたり、文学講座を開催しました。

講師には今年も池田 紘一先生（九州大学名誉教授・前長崎外国語大学学長）をお招きし、専門とされているドイツ文学の中で今年は「トーマス・マン『魔の山』とユングの錬金術心理学—その親近性の精神的・心理学的背景、そして第一次世界大戦—」と銘打ってお話ししていただきました。

タイトルだけを見ると内容が専門的、あるいは敷居が高いといったイメージを抱いてしまうようにも思われますが、そのようなイメージは、池田先生のユーモラスな語り口にぐいぐいと引き込まれていくうちに吹き飛ばされてしまいます。学生になって大学の講義を聴講している気分になり、耳慣れない言葉をひとつひとつ吸収しながら理解を深め、知識を広げていくのはとても新鮮で、この上ない喜びでもあります。

文学の世界や知への扉を開けてもらうための足がかりとして、この講座が皆さんのお役に立てたらと思います。たくさんのご参加ありがとうございました。



ブック・バトン

テーマ 季節

2人の図書館員がテーマに沿っておすすめの本を紹介！

季節を感じて

季節は小寒から大寒へと寒さがいっそう厳しくなる1月。皆さんはどのようにお正月をお過ごしでしたか。お正月は私たちにとって、とてもなじみのある1年の行事のひとつですが、どれほどのことを知り過ごしているでしょうか。門松や注連縄、鏡餅を飾り初詣に出かける。必ずしもそうしなければいけないわけではないでしょうが、それぞれの意味を知り行こうということは、何も考えずに過ごすより日々が豊かになるように感じます。『和ごよみで楽しむ四季暮らし』には、季節の行事や自然にそった暮らしが書かれています。季節を感じながら過ごしてみませんか。

さて、平凡な毎日でも誰と過ごすかによって、その瞬間瞬間の色が変わってくるものです。『君と過ごす季節』には、いろんな季節の情景と共に物語が書かれています。月を見ると思い出すあの人など、何かを見ると誰かを思い出すことはありませんか。複数の著者が短編でおりなすアンソロジーです。

1月は「睦月」。「人と仲睦まじくする月」という意味もあるそうです。あなたは誰と過ごしますか。

(司書 開 奈々)



『和ごよみで楽しむ四季暮らし』
岩崎 眞美子/著, 茶葉/著
学研パブリッシング
386.1 イ



『君と過ごす季節』
飛鳥井 千砂/ほか著
ポプラ社
B913.6 キミ

季節の楽しみ方

皆さんは季節を楽しんでいますか。楽しみ方は沢山ありますが、あるひとつのテーマを決め、1年を通して楽しんでみるのも面白いと思います。たとえば「色」。皆さんは冬を色にたとえると何色を思い浮かべますか。雪の白、寒色系の青など、人によってさまざまだと思います。では、日本の伝統色では今の季節は何色なのでしょう。『和の色のもものがたり』によると、朱色や小豆色などが今の季節の色なのだそうです。この本では、各季節にちなんだ色を紹介しています。伝統色を日常の生活に取り入れるのも楽しいかもしれません。

視覚以外にも、味覚での楽しみ方もあります。季節ごとに違うジャムを味わうのはいかがでしょうか。『季節の果物でつくるジャムとレシピの本』では、季節の果物を使ったジャムの作り方を紹介しています。この時期だと、柑橘類と豆類を使ったジャムが載っています。旬の果物の匂いを楽しみながら自分好みのジャムを作ることができます。

季節をどのように楽しむかは人それぞれだと思いますので、ぜひあなただけの楽しみ方を見つけてみてください。あたりまえのように過ぎていた季節が少し違って見えるかもしれません。

(司書 山田 あゆみ)



『和の色のもものがたり
季節と暮らす 365 日』
早坂 優子/著
視覚デザイン研究所
H757.3 ハ



『季節の果物でつくるジャムとレシピの本
手づくりだから出来るお好みの色、味、香り』
鈴木 雅恵/著
誠文堂新光社
K596 ス

寄贈紹介「長崎南ライオンズクラブ児童文庫」



ライオンズクラブ国際協会長崎南クラブが、設立 45 年を記念して、地域社会との連携を重視し、地域住民から要望が高かったカーブミラー・子ども基金・学校施設防犯カメラを長崎市に寄贈され、あわせて市立図書館に児童図書 68 冊 (10 万円相当) を寄贈されました。

図書貸出券には有効期限があります



- 登録された日以降の誕生日から 3 年 2 ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の 6 ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の 2 ヶ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの 2 ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申請書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの（免許証や保険証など）の提示をお願いいたします。（小学生以下の方は申請書の記入のみ）
- 有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

図書館テレビ

毎月 1 回月曜日、午後 6 時 20 分～午後 7 時
NHK 総合「そこが気になる」のコーナーで放送中！

『あなたの人生、片づけます』

垣谷 美雨/著
双葉社
F913.6 カキ



ものを捨てられず、ためこんでしまう人たちに焦点をあてた短編集。片づけ指導のプロ・大庭十萬里さんが、彼らの片づけられない原因を探りながら、次の一歩へ踏み出す手助けをしてくれます。

図書館ラジオ

毎月第 2 金曜日午後 2 時、長崎シティ FM (81.3M H z)
「ウィーパラライブラリー」で放送中！

『ドミトリーともきんす』

高野 文子/著
中央公論新社
X726.1 夕



不思議な学生寮「ともきんす」。2 階には、科学を勉強する学生さん 4 人が住んでいます。時空を超えて朝永振一郎、牧野富太郎、中谷宇吉郎、湯川秀樹と出会った、ひと組の親子の物語。漫画で描く、自然科学の読書案内。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	虚ろな十字架	東野 圭吾	光文社	280	6	アイネクライネナハトムジーク	伊坂 幸太郎	幻冬舎	173
2	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	256	7	ペテロの葬列	宮部 みゆき	集英社	169
3	銀翼のイカロス	池井戸 潤	ダイヤモンド社	231	8	キャロリング	有川 浩	幻冬舎	147
4	村上海賊の娘(上巻)	和田 竜	新潮社	200	9	荒神	宮部 みゆき	朝日新聞出版	146
5	明日の子供たち	有川 浩	幻冬舎	177	10	山女日記	湊 かなえ	幻冬舎	143

(2014年12月15日現在)